

# 地域コミュニティ実態調査ワークショップ（案）

## 1. 開催の趣旨

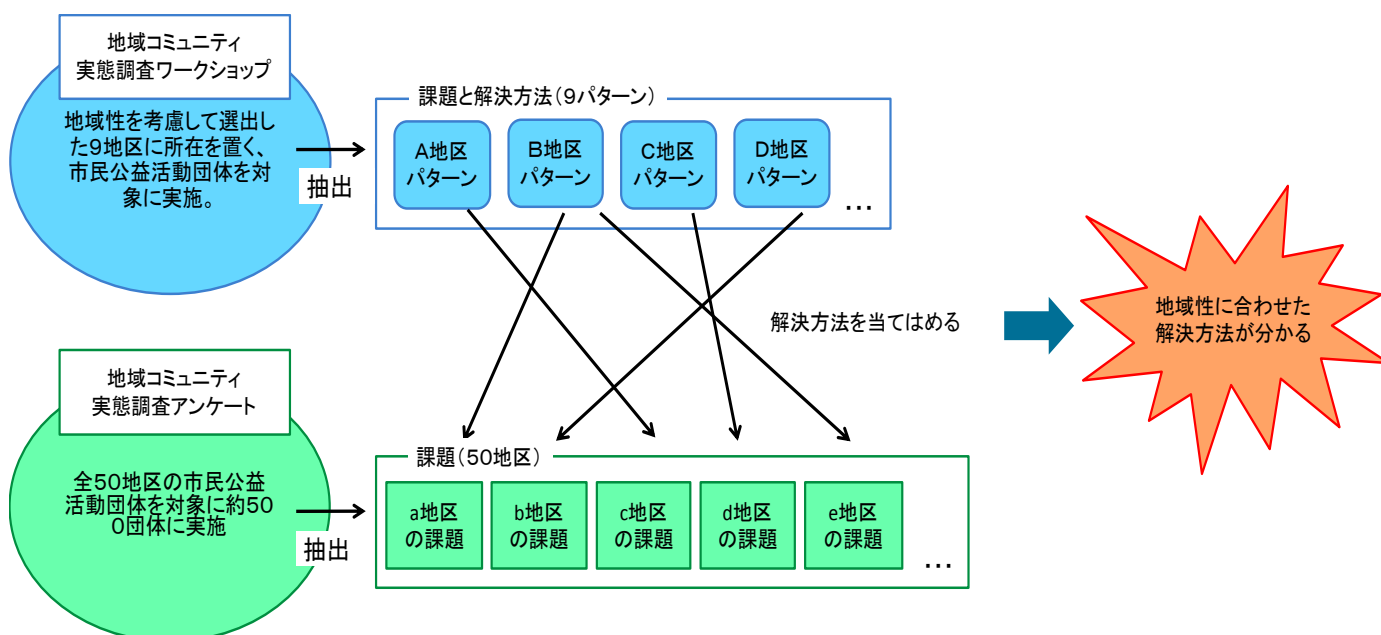
奈良市では、多様な主体（市民、市民公益活動団体など）が協働して地域の課題解決に取り組むための仕組み（地域自治協議会）を検討している。その前段階として、多様な主体がラウンドテーブル形式で地域の課題について話し合うような場が作られることが重要である。以上の点から、地域の課題について様々な意見やアイデアを出し合い、話し合ってもらうために、ワークショップを実施する。

## 2. 目的

### （1）地域の課題解決や地域自治協議会の設立に向けたプロセスの類型化を進めること

地域コミュニティ実態調査アンケートは実態把握をするために行うのに対し、ワークショップは地域の課題に必要な解決方法を発見するために実施する。地域性を考慮していくつかの地区でワークショップを行い、抽出した課題と解決方法をアンケート結果と共に検証する。この過程によって地区に応じた課題の解決方法や、地域自治協議会設立に向けたプロセスの類型化が図られる。

#### 【ワークショップとアンケートの相関関係イメージ】



### （2）協働の機運を高めること

様々な立場の方から意見を出してもらうことで、地域の課題解決に向けたより良い方法・アイデアが生まれると予想される。参加者がワークショップを実際に体験することで、協働してまちづくりに取り組むことの大切さを実感できる。また、奈良市が地域自治協議会を検討していることをPRし、参加者の協働に対する機運を高める。